

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Landport 高槻 新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府高槻市芝生町1丁目19番1、	構造	SRC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	500 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2016年1月20日
敷地面積	35,276 m ²	作成者	五洋建設株式会社 利根川 勝則
建築面積	18,648 m ²	確認日	2016年1月20日
延床面積	89,408 m ²	確認者	五洋建設株式会社 利根川 勝則



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	0	46	92
②建築物の取組み	0	46	92
③上記+②以外の	0	46	92
④上記+	0	46	92

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.7

機能性	3.2
耐用性	4.2
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.3

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.4

地球温暖化	3.8
地域環境	3.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
高効率な設備機器の導入、節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。また、外構緑化を積極的に行い、生物資源の創出や温熱環境負荷の向上に配慮している。	-
Q1 室内環境 ・評価対象外。	Q2 サービス性能 ・免震装置を導入している。 ・耐用年数の長いダクト、配管材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮する。
Q3 室外環境(敷地内) ・地被・低木だけでなく、中高木の植栽により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮する。 ・駐車場・駐輪場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮する。
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器の導入により、エネルギー消費量を抑える。 ・モニタリングを行い、エネルギーの効率的運用に配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮する。 ・再利用可能なユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0097

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)Landport 高槻 新築工事					
	建設地	大阪府高槻市芝生町1丁目19番1、外2筆					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 住戸・宿泊	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.5
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				